

第2次健康つやま21 指標、目標値及び各年度実績値

資料6-1

指標	対象	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	中間評価	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	目標値	出典	
		(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)		(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)		
健康寿命	男性	75.81歳	75.81歳	75.63歳	75.72歳	76.01歳	75.94歳	×	75.8歳	75.95歳	76.85歳	76.86歳	77.55歳	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加		
	女性	80.10歳	80.10歳	79.93歳	79.72歳	79.72歳	79.81歳	×	80.1歳	79.81歳	80.07歳	80.37歳	80.85歳			
栄養・食生活	[1] 朝食を毎日食べる人が増える	3歳児	92.1%	91.3%	92.8%	93.6%	93.6%	91.6%	×	92.4%	91.8%	93.6%	92.2%	93.7%	100%	D
		小学生	87.6%	85.3%	80.5%	81.3%	82.0%	80.1%	×	85.3%	79.5%	82.5%	77.5%	79.0%	93%	I
		中学生	84.1%	83.8%	79.6%	76.5%	76.3%	72.4%	×	78.8%	71.8%	71.4%	73.3%	77.4%	85%	I
		高校生	76.8%					86.9%	◎						85%	B
		20・30歳代男性	50.7%					52.5%	△						85%	A
		20歳代女性	57.6%					49.1%	×						85%	A
	[2] 野菜を毎食食べる人が増える	3歳児	23.0%	24.3%			18.8%	19.7%	×	22.9%	21.1%	19.2%	22.3%	15.7%	70%	D
		小学生	29.3%					24.0%	×						70%	B
		中学生	25.0%					28.3%	△						55%	B
		高校生	30.3%					36.2%	△						50%	B
		20歳以上	29.8%					29.6%	×						50%	A
	[3] 栄養成分表示を参考にしている人が増える	20歳以上	46.7%					44.9%	×						50%	A
	[4] 主食・主菜・副菜がそろった食事をする人が増える	20歳以上	14.5回/週					13.7回/週	×						15.5回/週	A
[5] 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数が増える	20歳以上	9.8回/週					9.8回/週	×						10.8回/週	A	
身体活動・運動	[6] 体を動かすことが好きだと答えることが増える	小学生			中間評価で指標変更			79.5%	—						80%	B
	[7] 週3回以上運動している生徒が増える	中学生	75.0%					84.5%	◎						80%	B
		高校生	52.0%					69.0%	◎						60%	B
	[8] 日常生活を活発に送っていると感じる人が増える	20～50歳代	48.0%					45.8%	×						60%	A
		60歳以上	72.0%					69.9%	×						80%	A
	[9] 健康情報を気軽に入手できると感じる人が増える	20～50歳代						58.3%	—						50%	A
		60歳以上						64.7%	—						50%	A
	[10] 身近に一緒に運動できる仲間がいる人が増える	20～50歳代			中間評価で指標変更			56.2%	—						50%	A
	[11] こけないからだ講座に参加している人が増える	60歳以上	174か所 3,700人					199か所 3,930人	○	202か所 3,903人	209か所 3,874人	216か所 3,837人	214か所 3,633人	213か所 3,176人	220か所以上 4,200人以上	L
	[12] 運動習慣者が増える	20～50歳代	19.0%					18.7%	×						30%	A
		60歳以上	38.3%					38.9%	△						50%	A
	[13] 足腰に痛みのない人が増える	60歳以上			中間評価で指標変更			37.7%	—						腰痛 20%以下	A
								35.3%	—						手足の関節の痛み 15%以下	A

第2次健康つやま21 指標、目標値及び各年度実績値

資料6-1

	指 標	対 象	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	中 間 評 価	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	目標値 R4年	出 典
			(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)		(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	
歯と口の健康	[14] 歯みがきをする人が増える(1日2回以上)	小学生	75.7%					87.1%	◎						80%	B
		中学生	80.5%					89.5%	◎						85%	B
		高校生	64.2%					85.6%	◎						80%	B
		20～50歳代男性	56.4%					75.5%	◎						60%	A
		20～50歳代女性	78.9%					93.0%	◎						85%	A
	[15] むし歯になるこどもが減る	3歳児	13.8%					12.4%	◎	11.1%	9.3%	9.5%	8.2%	7.5%	10%	F
		小学生	65.7%					64.2%	△						50%	G
		中学生	53.1%					53.6%	×						45%	G
	[16] 3歳児で10本以上むし歯をもつこどもが減る	3歳児	0.65%					0.0%	◎	0.2%	0.4%	0.1%	0.4%	0.2%	0.5%	F
	[17] むし歯を治療したこどもが増える	小学生	54.2%					56.7%	△	52.7%	55.8%	58.1%	59.7%		60%	G
		中学生	35.8%					36.0%	△	30.2%	35.3%	25.9%	29.7%		50%	G
	[18] 歯の健康に気をつけている人が増える	20～50歳代	61.1%					63.3%	△						75%	A
		60歳以上	48.8%					56.6%	○						60%	A
[19] 60歳以上で歯が24本以上ある人が増える	60～64歳	54.6%					59.3%	○						60%	A	
たばこ・アルコール	[20] 未成年の喫煙がなくなる	中学生	4.1%					1.6%	○						0%	B
		高校生男子	1.7%					0.8%	○						0%	B
		高校生女子	0.8%					0.0%	◎						0%	B
	[21] 健康のために禁煙できる人が増える(喫煙をやめたい人がやめる)	妊婦	7.0%					3.5%	○	3.5%	2.8%	2.5%	2.3%	3.1%	0%	C
		20・30歳代男性	28.8%					30.1%	×						(喫煙率) 12%	A
		20・30歳代女性	5.0%					11.7%	×							A
		40・50歳代男性	35.8%	15.8%		15.1%		29.1%	△							A
		40・50歳代女性	8.2%					9.4%	×							A
		60歳以上	10.2%					11.4%	×							A
	[22] 禁煙・分煙の施設が増える		152か所					199か所	◎		185か所	法改正で原則禁煙義務化				増加
	[23] 未成年の飲酒がなくなる	中学生	23.6%					38.0%	×						0%	B
		高校生男子	13.6%					12.6%	△						0%	B
		高校生女子	17.2%					7.3%	○						0%	B
[24] お酒の適量(1合未満)が分かり、楽しくお酒を飲む人が増える	20歳以上	60.8%					62.3%	◎						増加	A	

第2次健康つやま21 指標、目標値及び各年度実績値

資料6-1

指標	対象	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	中間評価	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	目標値	出典	
		(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)		(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2020)	(2022)		
[25] 就寝時間の早いこどもが増える	3歳児 (就寝時間 午後9時台)	69.4%	69.4%	68.5%	66.8%	67.7%	69.5%	△	69.3%	66.6%	67.4%	69.6%	64.9%	80%	D	
	小学生 (就寝時間 午後10時)	32.6%					31.6%	×						80%	B	
	中学生 (就寝時間 午後11時)	41.4%					34.2%	×						80%	B	
[26] 適正体重を維持している人が増える	小学生 (肥満・やせを除いた児)	91.9%	91.1%	92.1%	91.8%	91.4%	88.6%	×	89.9%	89.5%	88.9%	87.8%	87.6%	95%	H	
	中学生 (肥満・やせを除いた児)	87.5%	88.7%	90.7%	89.2%	85.6%	84.1%	×	90.2%	88.5%	88.9%	86.5%	86.5%	90%	H	
	20～60歳代 男性の肥満者	23.0%					26.7%	×						15%以下	A	
	40～60歳代 女性の肥満者	13.3%					12.4%	△						10%以下	A	
	20歳代女性 のやせの者	23.7%					34.0%	×						15%以下	A	
[27] 市が実施するがん検診を受ける人が増える	胃がん 検診	40～69歳	16.0%	16.6%	15.0%	14.3%	15.5%	14.9%	×	11.7%	9.9%	10.5%	10.6%	11.4%	30%	E
	肺がん 検診	40～69歳	24.3%	25.5%	23.7%	23.1%	26.2%	25.8%	△	22.4%	21.4%	20.8%	21.7%	22.6%	30%	E
	大腸がん 検診	40～69歳	25.5%	26.8%	25.4%	25.5%	29.5%	25.6%	△	21.6%	20.7%	20.2%	21.2%	22.1%	30%	E
	乳がん 検診	40～69歳	21.5%	29.6%	29.6%	30.7%	29.5%	29.0%	○	23.4%	24.2%	25.5%	27.4%	23.8%	30%	E
	子宮頸 がん検診	20～69歳	23.6%	21.8%	21.9%	23.1%	21.0%	20.7%	×	21.4%	23.0%	22.9%	23.5%	23.9%	30%	E
[28] 市の検診にかかわらず、いずれかの機関でがん検診を受ける人が増える	胃がん 検診	40～69歳 男性	45.1%					42.1%	×						50%	A
		40～69歳 女性	40.3%					38.8%	×						50%	A
	肺がん 検診	40～69歳 男性	50.0%					42.1%	×						50%	A
		40～69歳 女性	43.5%					35.6%	×						50%	A
	大腸がん 検診	40～69歳 男性	34.8%					35.7%	△						50%	A
		40～69歳 女性	37.1%					35.6%	×						50%	A
	乳がん 検診	40～69歳	42.7%					36.8%	×						50%	A
子宮頸 がん検診	20～69歳	42.5%					27.0%	×						50%	A	
[29] 特定健康診査・特定保健指導を受ける人が増える	特定健康 診査	40～74歳	21.2%	22.8%	22.2%	23.8%	27.3%	29.2%	△	27.8%	29.4%	30.0%	28.0%		60%	J
	特定保健 指導実施 率 (終了率)	動機付け (40～74歳)	22.0%	19.8%	18.6%	14.5%	13.8%	15.8%	×	16.2%	14.8%	20.6%	21.1%		60%	J
		積極的 (40～74歳)	7.6%	11.8%	6.0%	13.8%	1.0%	15.7%	△	16.3%	22.1%	13.3%	17.5%		60%	J
[30] メタボリックシンドローム該当者・予備群の人が減る	該当者	40～74歳	17.3%	17.7%	17.0%	18.7%	19.1%	19.2%	×	19.3%	19.9%	19.8%	21.9%		平成22年度と比べて減少	J
	予備群	40～74歳	11.5%	10.9%	10.9%	9.3%	10.7%	10.6%	◎	11.1%	10.9%	11.2%	11.1%			J
[31] 血糖コントロールが出来る人の割合が現状より増える	40～74歳	99.5%	99.0%	99.3%	99.2%	99.2%	99.2%	×	99.3%	99.1%	98.4%	97.8%	98.1%	99.5%	E	
[32] 糖尿病性腎症による年間新規透析導入者が減る	40～74歳	35人					25人	◎	42人	36人	29人	12人	20人	35人	K	
[33] 収縮期血圧の平均値が維持できる	40～74歳 男性	127.9mm Hg	128.1 mmHg	127.9 mmHg	127.6 mmHg	129.3 mmHg	128.6mm Hg	×	129.6 mmHg	128.9 mmHg	128.8 mmHg	130.8 mmHg	130.9 mmHg	127mm Hg	E	
	40～74歳 女性	126.5mm Hg	125.4 mmHg	125.6 mmHg	126.4 mmHg	127.5 mmHg	127.0mm Hg	×	127.2 mmHg	126.1 mmHg	126.8 mmHg	128.9 mmHg	128.8 mmHg	126mm Hg	E	

第2次健康つやま21 指標、目標値及び各年度実績値

資料6-1

	指 標	対 象	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	中間 評価	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	目標値	出典	
			(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)		(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	R4年 (2022)		
休養・こころの健康づくり	自殺者数の減少	全年代	26人					20人	◎	16人	15人	14人	15人	13人	減少	N	
	[34] 楽しみや生きがい・やりがいを持っている人の増加	小学生		中間評価で指標変更				91.2%	—							85%	B
		中学生		中間評価で指標変更				87.2%	—							85%	B
		高校生		中間評価で指標変更				92.1%	—							85%	B
		20・30歳代		中間評価で指標変更				76.6%	—							85%	A
		40・50歳代		中間評価で指標変更				77.0%	—							85%	A
		60歳以上		中間評価で指標変更				73.5%	—							85%	A
	[35] 一人で悩まず相談できる人が増える	小学生		中間評価で指標変更				77.2%	—							90%	B
		中学生男子	75.0%					81.2%	◎							80%	B
		中学生女子	85.6%					87.2%	○							90%	B
		高校生男子	56.8%					84.0%	◎							60%	B
		高校生女子	77.3%					90.9%	◎							80%	B
		20・30歳代	82.5%					85.2%	◎							85%	A
		40・50歳代	74.6%					82.5%	◎							80%	A
		60歳以上	67.8%					71.1%	△							75%	A
	[36] 相手の気持ちがわかり、思いやりのあるこどもが増える	小学生		中間評価で指標変更				85.4%	—							90%	B
		中学生		中間評価で指標変更				88.2%	—							80%	B
		高校生		中間評価で指標変更				90.8%	—							80%	B
	[37] 自分にあった気分転換ができる人が増える	小学生		中間評価で指標変更				91.2%	—							90%	B
		中学生男子	83.0%					87.1%	◎							85%	B
中学生女子		87.3%					87.2%	×							90%	B	
高校生男子		65.3%					90.8%	◎							70%	B	
高校生女子		81.3%					93.6%	◎							85%	B	
20・30歳代		86.1%					76.6%	×							90%	A	
40・50歳代		80.3%					77.0%	×							85%	A	
60歳以上		71.3%					73.5%	△							80%	A	
[38] 何でも話し合えると感じる親子が増える	小学生		中間評価で指標変更				93.0%	—							90%	B	
	中学生		中間評価で指標変更				69.5%	—							80%	B	
	高校生		中間評価で指標変更				79.5%	—							80%	B	
	20～50歳代		中間評価で指標変更				70.9%	—							85%	A	

第2次健康つやま21 指標、目標値及び各年度実績値

資料6-1

	指標	対象	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	中間評価	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	目標値	出典	
			(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)			
休養・こころの健康づくり	[39] 睡眠により休養を十分に取れている人が増える	20～50歳代	57.9%					52.5%	×						80%	A	
		60歳以上	68.0%					66.6%	×						80%	A	
	[40] 周りの人たちに支えられて子育てができていると感じる人が増える	20～50歳代		中間評価で指標変更				86.2%	—						80%	A	
		60歳以上		中間評価で指標変更													
	[41] こころの変調に気づき、支え手になることのできる人が増える	20～50歳代		中間評価で指標変更				67.5%	—						80%	A	
		60歳以上		中間評価で指標変更				59.4%	—						80%	A	
	[42] 身近に集える場所があり、周囲の人との交流を図ることのできる人が増える	60歳以上							ふれあいサロン：171か所 こけなからだ講座：199か所 3,930人	○	ふれあいサロン：171か所 こけなからだ講座：202か所 3,903人	ふれあいサロン：165か所 こけなからだ講座：209か所 3,874人	ふれあいサロン：161か所 こけなからだ講座：216か所 3,837人	ふれあいサロン：153か所 こけなからだ講座：214か所 3,633人	ふれあいサロン：147か所 こけなからだ講座：213か所 3,176人	増加	L・M
			ふれあいサロン：189か所 こけなからだ講座：174か所 3,700人														

データの出典

A	津山市健康基礎調査・成人(津山市健康増進課)
B	健康づくりアンケート・小学生、中学生、高校生(津山市健康増進課)
C	妊娠届出時アンケート(津山市健康増進課)
D	3歳児健診食生活アンケート(津山市健康増進課)
E	特定健康診査・各種がん検診データ(津山市健康増進課)
F	3歳児健診データ(津山市健康増進課)
G	学校保健概要(津山市教育委員会・岡山県学校保健会)
H	津山市教育委員会調査(津山市教育委員会)
I	児童生徒の食生活、日常生活等の調査(津山市教育委員会)
J	特定健康診査結果総括表(津山市保険年金課)
K	津山市障害福祉課データ
L	津山市高齢介護課データ
M	津山市社会福祉協議会データ
N	美作保健所データ

中間評価結果の見方

- ◎ 中間評価値が既に目標値に達している(100%達成)
- 中間評価値が、目標達成にむけ順調に改善している(50～99%改善)
- △ 中間評価値が、策定時の値より改善している(1～49%改善)
- × 中間評価値が、横ばいもしくは悪化している(0%以下)
- データがなく判定不能

第2次津山市食育推進計画 指標、目標値及び各年度実績値(中間評価による見直し後)

資料6-1

食育推進目標	指標	対象	H23年 (2011)	H24年 (2012)	H25年 (2013)	H26年 (2014)	H27年 (2015)	H28年 (2016)	中間 評価	H29年 (2017)	H30年 (2018)	R元年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	目標値 R4年 (2022)	出典
① 食事の重要性を理解し、食を楽しむ	[43] 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加(朝・夕の合計)	20歳以上	9.8回/週					9.8回/週	△						10.8回/週	(1)
	[44] 食育に関心のある人の増加	20歳以上	57.7%					54.8%	×						90%	(1)
② 食を大切にし、感謝の気持ちを深める	[45] 食事を残さないように食べたり、無駄なく調理したりしている人の増加	20歳以上	75.2%					72.7%	×						85%	(1)
	[46] 朝食を毎日食べる人の増加	3歳児	92.1%	91.3%	92.8%	93.6%	93.6%	91.6%	△	92.4%	91.8%	93.6%	92.2%	93.7%	100%	(3)
5歳児		—			94.9%		94.8%	△						100%	(6)	
小学生		87.6%	85.3%	80.5%	81.3%	82.0%	80.1%	×	85.3%	79.5%	82.5%	77.5%	79.0%	93%	(4)	
中学生		84.1%	83.8%	79.6%	76.5%	76.3%	72.4%	×	78.8%	71.8%	71.4%	73.3%	77.4%	85%	(4)	
高校生		76.8%						86.9%	◎					85%	(2)	
20・30歳代男性		50.7%						52.5%	○					85%	(1)	
20・30歳代女性		64.5%	中間評価で年代変更 20歳代→20・30歳代					68.0%	—					85%	(1)	
③ 食と健康に関心を持ち、健康の保持増進を図る	[47] 野菜を毎食食べる人の増加	3歳児	23.0%	24.3%			18.8%	19.7%	×	22.9%	21.1%	19.2%	22.3%	15.7%	70%	(3)
		小学生	29.3%					24.0%	×						70%	(2)
		中学生	25.0%					28.3%	○						55%	(2)
		高校生	30.3%					36.2%	○						50%	(2)
		20歳以上	29.8%					29.6%	△						50%	(1)
[48] 主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数の増加(朝・昼・夕の合計)	20歳以上	14.5回/週					13.7回/週	×						15.5回/週	(1)	
[49] 肥満者、やせの者の減少	小学生の肥満	7.0%	7.8%	7.3%	7.2%	7.6%	8.1%	×	9.4%	9.3%	10.2%	11.5%	11.8%	6.5%	(5)	
	中学生の肥満	9.2%	8.3%	6.6%	7.8%	6.8%	8.7%	△	7.0%	9.0%	8.8%	10.9%	10.7%	8.5%	(5)	
	20～60歳代男性の肥満	23.0%						26.7%	×					15%	(1)	
	40～60歳代女性の肥満	13.3%						12.4%	△					10%	(1)	
	20歳代女性のやせ	23.7%						34.0%	×					15%	(1)	
[50] 生活習慣病の予防や改善のために、普段から食生活に気をつけて実践している人の増加(適正体重の維持や減塩)	20歳以上	—	中間評価で指標変更				59.3%	—						65%	(1)	
④ 食を選択する能力を身につける	[51] 栄養成分表示を参考にしている人の増加	20歳以上	46.7%					44.9%	×						50%	(1)
⑤ 食を通じてマナーや社会性を身につける	[52] 家庭で食事のあいさつ(いただきます、ごちそうさま)をしている子どもの増加	5歳児	—			86.5%		85.4%	△						90%	(6)
⑥ 地域の産物、食文化を理解し尊重する	[53] 行事食を取り入れている人の増加	20歳以上	82.1%					76.6%	×						90%	(1)
	[54] 給食等で行事食を取り入れている回数の増加	保育所・認定こども園	—		13.2回/年			13.9回/年	◎						14回/年	(7)
	[55] 地域の産物や旬の食材を使用する人の増加	20歳以上	82.4%					82.2%	△						95%	(1)
	[56] 学校給食に地場産物を使用する割合の増加(使用割合＝岡山県産品目数/全使用品目数×100)	6月・11月	41.3%	44.9%	39.5%	46.1%	50.3%	51.6%	◎	60.6%	53.9%	52.2%	50.6%	48.2%	47%	(5)

- (1) 健康基礎調査アンケート(平成23年・平成28年)
- (2) 健康づくりアンケート(平成23年・平成28年)
- (3) 3歳児健診時食生活アンケート
- (4) 児童生徒の食生活、日常生活習慣等の調査(津山市教育委員会)
- (5) 津山市教育委員会調査
- (6) 幼児の食生活アンケート(平成26年・平成28年)
- (7) 行事食に関するアンケート(平成25年度・平成28年度)

中間評価・最終評価結果の見方
 ◎ 目標達成
 ○ 策定時より目標に近づいた
 △ 変化なし
 (策定時より概ね±1%、0.1回/週又は0.1回/年未満)
 × 策定時より目標から遠ざかった

いのちを支える津山市自殺対策計画 指標、目標値及び実績値

1 数値目標

目標	具体的目標	現状値	R元年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	数値目標 R4年 (2022)	出典	
すべての市民が、かけがえのないいのちを大切にすることができる (自殺者数の減少)	平成27年と比べて自殺者数が減少する	20人	14人	15人	13人	3割以上減少	C	
	[57] 楽しみや生きがい・やりがいを持っている人の増加【健康つやま21】 ¹⁾	小学生	91.2%				85%以上	B
		中学生	87.2%				85%以上	B
		高校生	92.1%				85%以上	B
		20・30歳代	76.6%				85%以上	A
		40・50歳代	77.0%				85%以上	A
		60歳以上	73.5%				85%以上	A

2 評価指標

【基本施策】

小目標	具体的指標	現状値	R元年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	評価指標 R4年 (2022)	出典
(普及啓発) こころの健康について正しい知識を身に付けることができる	[58] 市民が、研修会や健康教育等を通じて、こころの健康に関する知識を得ることができる	569人	738人	196人	482人	聴講者年間600人	H
		82.2% (H28年度)	86.0%	聴講者アンケート未実施	聴講者アンケート未実施	聴講者アンケートから「参考にになった」と答えた人の割合が85%以上	H
(リスクの高い人への支援) 困難を抱えた人が気軽に相談でき、迅速に適切な支援を受けることができる	[59] 一人で悩まず相談できる人が増える【健康つやま21】	小学生	77.2%			90%以上	B
		中学生男子	81.2%			80%以上	B
		中学生女子	87.2%			90%以上	B
		高校生男子	84.0%			60%以上	B
		高校生女子	90.9%			80%以上	B
		20・30歳代	85.2%			85%以上	A
		40・50歳代	82.5%			80%以上	A
60歳以上	71.1%			75%以上	A		
(人材育成) こころの健康に興味関心を寄せる人が、支援者としての知識を得ることができる	[60] メンタルヘルス研修に関わる人材育成を目的とした研修を受講した人が増える	48人	96人	開催なし ※新型コロナウイルス感染症流行のため	70人	ゲートキーパー養成講座受講者年間50人以上	H
	[61] こころの変調に気づき、支え手になることのできる人が増える【健康つやま21】	20～50歳代	67.5%			80%以上	A
		60歳以上	59.4%			80%以上	A
(組織連携) こころの健康に関わるすべての関係機関がそれぞれの役割を理解し、困難を抱えた人の支援に向けたネットワークを構築できる	[62] こころの健康に関連する組織が、ネットワークを構築し、連携を深めることができる	新規事業のため現状値なし	2回	2回	1回	庁内自殺対策ネットワーク会議の開催年2回以上	H
(遺族等への支援) 遺された人たちが悲しみや苦しみを分かち合える	[63] 「わかちあいの会」のチラシの設置場所の増加	44か所 (精神科医療機関、相談支援事業所、図書館等)	36か所	40か所	45か所	平成30年度と比べて増加	E

【重点施策】

重点施策	具体的目標	現状値	R元年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	目標値 R4年 (2022)	出典	
(仕事)	[64] こころの不調に早期に気づき、対応することのできる企業が増える	55.6% ²⁾				平成30年度と比べて増加 (アンケートにより「メンタルヘルス対策を行っている」と回答した企業の割合が増える)	D	
(高齢者)	[65] 身近に集える場所があり、周囲の人との交流を図ることのできる人が増える【健康つやま21】	ふれあいサロン:171か所 こけいからだ講座:199か所、3,930人	ふれあいサロン:161か所 こけいからだ講座:216か所 3,837人	ふれあいサロン:153か所 こけいからだ講座:214か所 3,633人	ふれあいサロン:147か所 こけいからだ講座:213か所 3,176人	平成30年度と比べて増加	G	
(生活困窮者)	[66] 自立相談支援センターの相談者のうち就労支援対象者の就労増収率 ³⁾ が増える	52% (平成27年度から平成29年度までの平均)	57.1%	35.7%	54.5%	52%以上	F	
	[67] 支援先情報の周知リーフレット・カードの設置場所の増加	新規事業のため現状値なし	0か所 ※R元年に作成	8か所	10か所	10か所	E	
(子ども・子育て)	[68] 子育て世代包括支援センターの相談者が、必要な支援につながる割合	100%	100%	100%	100%	100%	H	
	[69] 何でも話し合えると感じる親子が増える【健康つやま21】	小学生	93.0%				90%以上	B
		中学生	69.5%				80%以上	B
		高校生	79.5%				80%以上	B
		20～50歳代	70.9%				85%以上	A
[70] 周りの人たちに支えられて子育てができていていると感じる人が増える【健康つやま21】	20～50歳代	86.2%				80%以上	A	

(注釈)

- 1)【健康つやま21】の表示がある目標・指標は、平成25年3月策定の市町村健康増進計画「第2次健康つやま21」と共通の目標・指標です。現状値については、平成29年度に実施した健康つやま21での中間評価時のものです。このうち%で表示しているものは、意識調査アンケートの結果です。
- 2)企業におけるライフスタイルの実態を把握するため、平成30年度に健康増進課がワークライフバランス認定企業、協会けんぽ岡山支部健活企業から市内9社に聞き取り調査した物です。
- 3)就労増収率は、就労支援者に占める就労・増収者の割合です。4月から翌年3月までの年度集計のため、就労支援者が、

(出典)

- A 津山市健康基礎調査アンケート
- B 健康づくりアンケート
- C 厚生労働省 自殺統計
- D 企業アンケート
- E 美作保健所
- F 津山市自立相談支援センター
- G 津山市高齢介護課
- H 津山市健康増進課